

11・4日比谷野音へ！

2012年10月5日
No.58

全学連（斎藤郁真委員長）書記局通信

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

動労千葉が10・1外注化反対で 2波のストライキに決起！

10月1日から、動労千葉は車両の検査修繕業務と構内運転業務を千葉鉄道サービスへの外注化を強行したこと、それにともない動労千葉組合員44人を強制出向させたことに対して、2波のストライキに突入しました！

4日にはストライキ集約集会（右写真）を行い、新たな戦闘宣言を発しています。全学連も闘う労働者と団結し、11・4労働者集会に総決起を！

●田中委員長アピール（動労千葉を支援する会・習志野ブログ<http://kaze2011dc.blog.fc2.com/>より）

「スト集約集会であると同時に、新しい闘いへの集会。今日の段階での中間総括。組合員の素晴らしい闘いへ感謝したい。一人一人が闘う方針をとった。16時からの説明会で一人ひとりが大ゲンカして、スト通告をして、ストを闘った。そして10月1日以降、職場にのりこんで闘って、ストに入った。派出では一人でのりこんで、スト。12年間の闘いで、組合の団結と一人ひとりを鍛えた。

闘争は負けていない。半分は勝っている。外注化が強行されたが、闘いをつづける。

10・4オスプレイ反対官邸前行動！打ち抜く！



10月4日、沖縄へのオスプレイ配備・試験飛行強行に対して怒りの官邸前行動が400人の結集で闘われました！



外注化への腹の底からの怒りを忘れてはいけない。人間が、労働者が人間らしく生きていくことが否定されている。紙切れ一枚で、出向など認めてはならない。

動労千葉は少数だが、人間らしい、労働者らしい団結だと、胸をはって言える。この闘争は勝てる。ガタガタなのは、当局の側。外注化の狙いは、動労千葉の破壊。だが、そうはなっていない。

勝利できる地平を開いた。

民主労総から激布がきた。感動。毎日、日本大使館前で一人デモを闘っている。ソウル本部長を経験した4人も参加している。「外注化やめろ！ 鉄道の安全が破壊される！」と訴えている。世の中は、竹島問題だが、労働者が団結したら、のりこえられる。

11・4全国労働者総決起集会への結集を。

本当の闘いはこれから。職場の闘いで、偽装請負を一つ一つ追及しよう。

組織拡大に全力をあげよう！

10・19法大包围デモ

10月19日（金）12：40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合

10・19法大デモへ！ 全国からの結集アピール！

●全学連副委員長・石田真弓君（東北大）

いま私たちがキャンパスで直面しているのは、原発をなくすために立ち上がった人々が直面してきた現実そのものです。処分が狙われている武田くんら、学祭規制に反対する学生を排除して行われている「説明会」とは、学生に「説明」をしたという形式作り、口実作りのための儀式でしかなく、この間、政府や電力会社が全国で開催してきた「説明会」と瓜二つです。東北大学でも、この夏、サークル棟の管理・運営権を学生から剥奪するために、当局が「説明会」を開催するということがありましたが、ここでも法大と同様に私たち反対派の排除が行われました。

結局、権力者たちは自分たちに都合の良い情報だけを得て勝手に繋ぎ合せ、時にはウソまでついて真実を覆い隠し、私たちに沈黙させることで、私たちの同意を得たかのように演出しようとしているに過ぎません。こんなことは反対派が存在するだけで「説明会」が成り立たないと彼ら自身が考える程に破綻的なのです。

しかし、そのような在り方が全社会的に成り立って来た事実があります。とりわけ大学においては、この数十年間、「教育の民営化」を推し進めるために、学生自治会を解体し、当局に異を唱える学生を大学の中から一掃するために様々な攻撃が全国的に行われました。結果、大学が原発の安全神話と福島原発事故を生み出し、「ゆるやかな殺人」を開き直る山下俊一のような御用学者を生み出すことになったのです。

法大闘争はこうした大学の現状を全国の学生が力を合わせ具体的に乗り越えていくものとして闘われて来ました。そして、暴処法弾圧という戦時型の学生運動解体攻撃すら打ち破った地平の上に登場してきた仲間が、武田くん始め法大の学内で闘っている仲間たちです。彼らは法大闘争勝利の象徴とも言える存在なのです。何より、武田くんの日常の闘いが「説明会」のペテンを粉砕し、「教育の民営化」を粉砕しています。だからこそ、法大当局は処分という形で彼を大学から叩きだそうとしているのです。こんなことは絶対に許せない！

武田くんへの不当処分を阻止するという具体的な勝利の中に、

「教育の民営化」を粉砕し、原発を支える大学の在り方を変える具体的な道筋があると確信しています。10月19日、全国の学生の力を一つに結集して、武田くんへの処分を阻止しよう！
平で、自分の大学の規制・御用学者もぶっ飛ばしましょう！

●東北大1年生

全国の学生の皆さんに10・19法大包囲デモへの参加を呼びかけます！当日は東北大学からも駆けつけます。東北大には24時間利用できる学生管理のサークル棟があり、サークル活動が自由闊達なのが売りです！これは全国的にはとても珍しく、東北大生としてとても誇りに思っています。もちろんお酒も24時間(!?)好きな時に飲めます。しかし、この学生が主体のサークル棟は何もせずに学生が手に入れたわけではありません。私の先輩達が何度も大学当局と激突し、数々の規制を打ち破り、勝利してきた結果としての結晶体として存在しています。

自治権とは大学から恵んでもらうものではありません。闘ってもぎ取るものということを私は学びました。現在、法政大学では飲酒規制とサークル員の強制出向制度が学生の声を完全に無視した形で強行されようとしています。これ自体も本当に許しがたいことですが、それ以上に怒りを抑えきれないことは、この暴挙に対して立ち上がった学生に対して処分が策動されていることです。批判の声を無理矢理ねじ伏せ圧殺しようというのは大学のやることでは到底ありません。またこんなふざけた処分は同じ学生として絶対に許容できません。

そして大切なことは、法大当局によるサークル活動に対する抑圧と彼への処分攻撃は、法大生だけでなく私たち全ての学生の問題として捉えなくてはならないことです。なぜか？こんな不当な弾圧が法大でまかり通ってしまえば、今後は私の東北大へ、そして全国の諸大学へと波及していくことは間違いないからです。逆に言えば法大闘争で勝利することは、全国学生の勝利でもあります。東北大でも部室配分権を学生から奪おうと、学生自治が侵害されようとしています。私たちも全力で闘い抜きます。法大で、東北大で、全国で勝利していきましょう！

11・4全国労働者総決起集会

**新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを！
JR外注化阻止！ 反原発・反失業、野田倒せ！**

◆11月4日(日) 正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

http://www.geocities.jp/nov_rally/

※右写真は、5950人が結集した昨年11月6日の全国労働者総決起集会

